

- ☆ 大学体験教室や職業体験教室は、今の大学ではどのようなことを学ぶのか、今の社会にはどのような職業があるのかを知ることが目的としていた。しかし、今の世の中の変化は激しく、10年後も大学や職業が同じ姿であるとは考えにくい時代になってきた。

これからの世界を生きていく生徒たちには「様々な課題を抱える社会において、自分には何ができるか、自分はどのように生きていくか」を考える姿勢や態度を育てていきたい。

【目的】

企業の経営者が、何を志し、何を考え、どのような思いで自分の会社を経営しようとしているかに触れることで、現代社会が抱える課題や問題点を知るとともに、自らの進路や生き方を考えるための一助とする。

《副次的なねらい》

地元の企業の方に本校の生徒の様子や活動を見ていただくことで、本校の存在や教育活動を理解してもらい将来的な生徒募集につなげていく。

【内容】

2～3人程度のグループで、市内や近郊の企業（会社・事業所・商店）を訪問し、経営の立場にある人（社長や店長（支店長）、幹部社員など）にインタビューする。

※ 職場見学でもなく、仕事体験でもない。

経営の立場にある人に質問をし、それにお答えいただくという形で行う体験学習。

《予想される質問》

- ・この会社は何をする会社ですか？ この会社が始まったのはいつですか？ 従業員は何人ですか？
- ・今、会社を経営する上で困った事や悩みはありますか？ あれば、どのように乗り越えていこうとしていますか？
- ・社長さんの信念や座右の銘などがありましたら教えてください。
- ・人を雇うとき、どのようなところを見ていますか？

【実施学年・時期】 中学1年生 11月初旬（2年生の市役所訪問の時期）

※ 市役所訪問と同一日の開催が望ましいが、先方の都合もあるので、その日を基準日として前後3日間の期間を設け実施する。

【訪問先】

八幡地区のロータリークラブ会員のほか、本学園法人、本校青風会、付属高校父母教師会、同窓会等の協力いただき、地元（市内及び周辺）の企業または個人（社長さんなど）を紹介していただく（ただし、思想や宗教などに強く偏りのある方はご遠慮いただく）。

50カ所ほど準備できれば、その中から、生徒が関心ある所を選んで訪問先を決定する。

【スケジュール】

- | | | |
|-------|-------------------------------|-------------------------|
| 3月頃 | 校内での方針決定 | |
| 4～6月 | 関係各所に周知しながら、受入れ可否をいただく | |
| 7月上旬 | 訪問先リストの完成 | |
| 7月下旬 | 生徒に学習について説明、夏休み中に調べて訪問先候補を決める | |
| 10月初旬 | グループ・訪問先決定 | |
| 10月中旬 | 訪問先に質問リストを送付 | |
| 11月上旬 | インタビューの実施 | |
| 11月中旬 | 礼状送付 | |
| 12月末 | レポート完成（コピーを送付） | ※できればプレゼンの機会を設けるまで広げたい。 |

企業訪問

「社長さんに聞こう」

九州国際大学附属中学校

1

皆様が、**どのような思いで、どのようなお考えで、企業経営に臨まれているか** を中学生に語ってください。

これまでの時代は、勉強して高校や大学に進学すれば、自ずと道が開かれていました。

でもこれからは、子供自身がテーマや問題意識などをもっていないと、前に進むのが難しい時代になってきたと感じています。

そこで、一人一人の子供に、自分なりの「道標」を持たせてあげたいのですが、学校という場では限界があります。

- ・今の社会を学ぶことができる教材が、学校には用意されていません。
- ・今の社会を語れるだけの見識を持っている先生は非常に少なく、仮に、先生が語ったとしても説得力が足りません。

そこで、**今の社会の第一線でご活躍されている皆様のお力をお借りしたい**と考えた次第です。

2

今の世の中、順風満帆で進む会社は少ないと思っています。
皆様それぞれに、**何らかの問題や悩み、リスク**などを抱えながらも、状況を分析し、方針を定め、具体的な手立てを考え実行し、評価・改善を図りながら、会社の舵取りをなさっていると思います。

さらに、利益の追求だけでなく、社会への貢献という大きなテーマに基づいて、**皆様の会社のあるべき姿・進むべき道**を作り出されていることと思います。

これらの活動は、ご苦労も多いでしょうが、一方で、**やりがいや生きがい・喜び**なども少なくないと思います。

このようなことを、次世代を生きる中学生に語っていただけないでしょうか。

子供たちにとって**皆様の言葉に触れるという体験を、夢や希望・情熱といった「生きるための道標」**へとつなげていきたいと、私たちは考えています。

3

具体的には、11月上旬のある日 午後の1時間程度、皆様のところへ、生徒（中学1年生）3～4人でお邪魔させていただきます。

※令和3年は、**11月4日（木）を基準日とし、その前後、11月1日（月）、2日（火）、5日（金）を予備日**としています。

皆様ご自身のご都合が合わない場合でも、ほかの幹部の方など会社経営に関わられている方にご対応いただければ、大変ありがたいです。

生徒が、**事前にお送りする質問内容に従ってインタビューをします**ので、それにお答えください。
それをもとに話題を広げたり、生徒に尋ねたりしながら会話を広めていただけると、とても助かります。

※質問は10月中旬頃にお知らせします。

4

学校では、生徒たちに次のようなことを指導します。

【事前学習】

- ①グループと訪問先を決めます。
- ②インターネットや資料などを使って、皆様の会社のことについて調べます。
- ③皆様への質問を考えます。
- ④訪問時の挨拶などのマナーに加え、「手作り名刺」を作り、名刺交換の仕方を学びます。

【事後学習】

- ①お礼状を作って送ります。
- ②インタビューの内容や皆様からの話をまとめ、A3サイズの「手書きレポート」を作ります（皆様にはレポートのコピーをお送りします）。

5

ご注意いただきたいこと

- ①この企画は、職業体験（仕事体験・職場見学・インターンシップなど）とは異なります。
生徒たちが、会社経営という立場から見て、「**今の社会が抱える課題**」を知ることが目的です。
- ②お伺いするのは、年齢的に12,3歳の中学生のため、**要領が悪かったり、スムーズに会話ができなかったりする者もいます**のでご容赦ください。また、専門用語やカタカナ言葉などの難しい言葉は通じないと思います。平易な言葉にかみ砕いていただけるとありがたいです。
- ③中学生は、**おやつやお菓子、お土産など過剰な接待**をいただくと、そこだけに目が行く傾向があります。接待は、湯茶など最低限のもので十分です。

6